石狩市教育委員会会議(3月定例会)資料

/	辛生	#	\
\leq	餓	籴	/

・招致外国青年就業規則の一部改正について ・・・・・・・・ $P1 \sim P2$
・石狩市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例
施行規則の一部改正について ・・・・・・・・・・・ P3~P13
・石狩市立学校通学区域規則の一部改正について ・・・・・・ P14~P17
・石狩市立学校施設の使用に関する規則の一部改正について ・・・・P18~P22
・石狩市学び交流センター条例施行規則の一部改正について ・・・・P23~P29
・石狩市ふれあい研修センター条例施行規則の一部改正について・・・P30~P34
・石狩市美登位創作の家条例施行規則の一部改正について ・・・・ P35~P37
・石狩市カルチャーセンターの使用に関する規則の一部改正について
• • • • • P 38~ P 42
・石狩市立緑苑台小学校の学校施設の使用に関する規則の一部改正について
• • • • • P43~ P49
・石狩市公民館条例施行規則の一部改正について ・・・・・・ P50~P56
・石狩市民図書館条例施行規則の一部改正について ・・・・・・P57~P58

石 狩 市 教 育 委 員 会

議案第1号

招致外国青年就業規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

招致外国青年就業規則の一部を改正する教育委員会規則 習致外国青年就業規則(平成7年教育委員会規則第6号)の一

(勤務時間)

第10条 英語指導助手の勤務時間は、休憩時間を除き1週間について35時間とする。

- 2 英語指導助手の勤務時間の割り振りは、午前8時45分から午後4時30分までとし、土曜日及び日曜日は週休日とする。ただし、月曜日から金曜日までの毎日<u>午後0時から午後0時45分まで</u>は休憩時間とし、この時間は、英語指導助手が自由に使用できるものとする。
- 3 <u>前項</u>の規定にかかわらず、所属長は、英語指導助手に対し、<u>土曜日又は日曜日</u> に勤務することを指示することができる。この場合は、その週を含めて4週間以 内に代休を与えることとし、当該4週間を平均して1週間につき35時間を超える 勤務をさせないものとする。
- 4 第2項の規定にかかわらず、所属長は、英語指導助手に対し、その勤務時間又は休憩時間の変更を<u>指定</u>することができる。この場合においても、1日につき7時間を超える勤務をさせないものとする。

(休日)

第11条 英語指導助手の休日は、石狩市職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平 成7年条例第3号)第9条第1項に掲げる日とする。 (勤務時間)

第10条 略

2 英語指導助手の勤務時間の割り振りは、午前8時45分から午後4時30分までとし、土曜日及び日曜日は週休日とする。ただし、月曜日から金曜日までの毎日<u>午後0時15分から午後1時まで</u>は休憩時間とし、この時間は、英語指導助手が自由に使用できるものとする。

正

改

- 3 <u>前2項</u>の規定にかかわらず、所属長は、英語指導助手に対し、<u>週休日</u>に勤務することを指示することができる。この場合は、その週を含めて4週間以内に代休を与えることとし、当該4週間を平均して1週間につき35時間を超える勤務をさせないものとする。
- 4 第2項の規定にかかわらず、所属長は、英語指導助手に対し、その勤務時間又は休憩時間の変更を<u>指示</u>することができる。この場合においても、1日につき7時間を超える勤務をさせないものとする。

(休日)

- 第11条 次に掲げる日は、英語指導助手の休日とし、前条第2項に規定する勤務時間においても勤務することを要しない。
- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

- 2 前項の規定にかかわらず、所属長は、あらかじめ振り替える休日を指定した上 で、前項の休日に勤務を命ずることがある。
- 3 休日は有給とする。

(年次有給休暇)

第12条 英語指導助手は、第4条に定める任用期間中に分割又は連続した20日間の 年次有給休暇を取得することができる。<u>この年次有給休暇は時間単位で取得する</u> ことも差し支えない。

 $2 \sim 3$ 略

(特別休暇)

第14条 特別休暇は、次の各号に掲げる場合とし、その期間は、当該各号に掲げる 期間とする。

(1)~(8) 略

(9) 小学校就学の始期に達するまでの子(配偶者の子を含む。)を養育する英語 指導助手が、その子の看護をするため勤務しないことが相当であると認められ る場合 5日の範囲内の期間

(10) 略

2 略

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日(前号に掲げる日を除く。)

- 2 前項に規定する休日が週休日と重複する場合には、その日は週休日とする。
- 3 第1項及び前条第1項の規定にかかわらず、所属長は、英語指導助手に対し、 あらかじめ振り替える休日を指定した上で、休日に勤務することを指示すること ができる。この場合は、その週を含めて4週間以内に代休を与えることとし、当 該4週間を平均して1週間につき35時間を超える勤務をさせないものとする。
- 4 休日は有給とする。

(年次有給休暇)

第12条 英語指導助手は、第4条に定める任用期間中に分割又は連続した20日間の 年次有給休暇を取得することができる。<u>また、この年次有給休暇は1日、1時間</u> 又は15分を単位とし取得することができ、1時間又は15分を単位として使用した 年次有給休暇を日に換算する場合は7時間をもって1日とする。

 $2 \sim 3$ 略

(特別休暇)

第14条 略

(1)~(8) 略

(9) 小学校就学の始期に達するまでの子(配偶者の子を含む。)を養育する英語 指導助手が、その子の看護をするため勤務しないことが相当であると認められ る場合 5日の範囲内の期間 (養育する子が複数の場合にあっては、10日とす る。)

(10) 略

2 略

備考 改正部分は、下線の部分である。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

議案第2号

石狩市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則(平成14年教育委員会規則第4号)の 一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第3号様式(第5条関係)	別記第3号様式(第5条関係)
その1 略	その1 略
その2 (表) 略	その2 (表) 略

その2 (裏)

5	厚生年金6 法等の適月		の被保険	者である	5。 □被仰	保険者でない	١,	
	傷病名	•						
%		りうち療養の/ ったと認められ		ことが	現在の状態			
医	平成 年	月 日か			平成	年 月		3
師	平成 年	月 日ま	のうち で	日	□治癒 □転医	□死亡 □継続中	□中1	Ŀ
の	上記のとおりであることを証明します。							
証								
明	平成	年 月	日 診療	機関の・	「所 在 ^は 名 和 医師の氏名	 5		•
7		振 込 先 金融機関名	銀行	支店	※ 受理	年	月	日
	口座振替	□普通預会	€ □当座	預金	*			
达金	口座旅台	口座番号			決定	年	月	日
送金希望の場合		預金名義者			※ 支払	年	月	日
場合	送切手	振 込 先金融機関名	銀行	支店	*			
. П.	その他				決定 金額			円

[注意事項]

- 1 請求者は、%印の欄には記入しないこと。また、該当する \Box にV印を記入すること。
- 2 「5 厚生年金保険法等の適用」の欄には、休業補償を受けようとする者が記入するものであり、請求者が公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災 害補償の基準を定める政令附則第3条第3項の適用を受ける者であるときは、「… …の被保険者である。」にその適用を受ける法律の名称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この休業補償請求と同一の事由によって、 厚生年金保険法の障害厚生年金及び国民年金法の障害基礎年金並びに旧船員保険法、 旧厚生年金保険法、旧国民年金法の障害年金の給付を受けている場合には、その年 金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を記 載した書類を添付すること。

また、この請求書に係る<u>年金の支給</u>決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

3 「※6 医師の証明」の欄には、入院中の場合のように、既に療養補償請求書等 によって療養のため勤務できないことが明らかに認められるときは、この請求書に おいて重ねて医師の証明を求めて記入する必要はないこと。

その2(裏)

								(3C)
5	厚生年金保 法等の適月		の被保険	者である	る。 □被係	保険者でない	, \ ₀	
	傷病名	•						
%		りうち療養のた ったと認められ		ことが	現在の状態	送		
医	平成 年	月日か	ĥ		平成	年 月	F F	
師	平成 年	月日ま	のうち	日	□治癒 □転医	□死亡 □継続中	□中业	:
の	上記のと	とおりであるこ	ことを証明し	ます。				
証				, 0	「所 在 均	也		
明	平成	年 月	日 診療	機関の・		示 各		•
7		振 込 先 金融機関名	銀行	支店	※ 受理	年	月	日
洋	口座振替	□普通預会	□当座	預金	*	_		
送金希望	日生派日	口座番号			決定	年	月	日
世望の		預金名義者			※ 支払	年	月	日
の場合	送金小切手	振 込 先 金融機関名	銀行	支店	*			
	その他				決定 金額			円

(重)

〔注意事項〕

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。また、該当する□に **レ**印を記入すること。
- 2 「5 厚生年金保険法等の適用」の欄には、休業補償を受けようとする者が記入するものであり、請求者が政令附則第3条第3項の適用を受ける者であるときは、「……の被保険者である。」にその適用を受ける法律の名称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この休業補償請求と同一の事由によって、 同項の表の上欄に掲げる年金の給付を受けている場合には、その年金の種類、年額、 支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を記載した書類を添付 すること。

また、この請求書に係る<u>補償の支給</u>決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

3 「※6 医師の証明」の欄には、入院中の場合のように、既に療養補償請求書等 によって療養のため勤務できないことが明らかに認められるときは、この請求書に おいて重ねて医師の証明を求めて記入する必要はないこと。 その3

	障害補償年金請求書 認定番号											
						請求	文 年月日	平原	戊	年	月	日
	石狩市教育委員会教育長様 次の障害補償年金を請求します。						^文 者の住所 り が な 名					<u> </u>
被事	被事 災 が属学校名										校 校歯科 校薬済	
職員に関		£	名				負傷又 発病年月	7	平成	年	月	目
する項			Т	年月	日生(歳)	治癒年月	日互	平成	年	月	目
2	障を	害の部 の	分及び 程 度									
3	既そ	存障の	害 と 程 度									
4	障	害	等級		第				希	及		
5	障 請	害補償求	(年金金)金額	(年金	含補償基礎額) 円×	(日数) 日=				円
6	厚等	生年金の	保険法 適 用		の被保	険者で	である。	□袺	皮保険	者で	ない。	
7			振 法融		銀行	支店		理		年	月	日
	П	座振替		等通預金	≥□当座	預金	※決	定		年	月	日
送金希望	,		-	番号			※障害		第	j	級	号
望の	送	金		名義者 入 先			のる	€ 号	第		_	号
の場合	小	切手	金融	込 先 幾関名	銀行	支店	年	月			年	月
	そ	の他					※決定	金額				円

その3

	障 害 補 償 年 金 請 求 書 認定番号												
						請才	マキス	月日	平成	Ì	年	月	目
	石狩市教育委員会教育長 様							がなっ					
次	の障害権	順年金	を請求し	ンます。 		氏		名_					<u> </u>
被事	所属学	丝校名										校 校歯科 校薬科	医
職員に関	氏	名						傷 又 に 同年月日	71	区成	年	月	目
する項		41	年月	日生(莀	鼓)	治癒	5年月日	3 ¥	区成	年	月	目
2	障害の部 そ の	『分及び 程 度											
3	既 存 障	章 害 と 程 度											
4	障害	等 級		第		級							
5	障 害 補 請 求			全補償基礎		$\exists \times$		([日数) 日=	=			円
6	厚生年金 等 の	· 保険法 適 用		の被	保険	食者で	である) 。	□被	皮保隆	検者で	ない。	
		振金融	込 先 機関名	銀行		支尼	<u> </u>	受	理		年	月	目
7			普通預金	≥ □当	座預	重金	*	決	定		年	月	日
送金	口座振巷	口匠	医番号				*	障害等	幹級	第		級	号
希望の		預金	:名義者				*	・ 年金記 の 番	E書 号	第			号
の場合	送		込 先 機関名				5	支給 年	見 別 月			年	月
	その化	h_					*	決定会	全額				円

[注意事項]

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。また、該当する□に **レ**印を記入すること。
- 2 「3 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場合 にのみ記入するものとし、既存の障害について障害補償を支給された場合は、その 該当等級を明記すること。
- 3 「6 厚生年金保険法等の適用」の欄には、障害補償年金を受けようとする者が 記入するものであり、請求者が公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公 務災害補償の基準を定める政令附則第3条第1項又は第2項の障害補償年金の適用 を受ける者であるときは、「……の被保険者である。」にその適用を受ける法律の名 称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この障害補償年金と同一の事由によって、 厚生年金保険法の障害厚生年金及び国民年金法の障害基礎年金並びに旧船員保険法、 旧厚生年金保険法、旧国民年金法の障害年金の給付を受けている場合には、その年 金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を記 載した書類を添付すること。

また、この請求書に係る年金の支給決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

4 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書、 エックス線写真その他の資料を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

[注意事項]

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。また、該当する□に **レ**印を記入する こと。
- 2 「3 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場合 にのみ記入するものとし、既存の障害について障害補償を支給された場合は、その 該当等級を明記すること。
- 3 「6 厚生年金保険法等の適用」の欄には、障害補償年金を受けようとする者が 記入するものであり、請求者が政令附則第3条第1項又は第2項の障害補償年金の 適用を受ける者であるときは、「……の被保険者である。」にその適用を受ける法律 の名称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この障害補償年金と同一の事由によって、 政令附則第3条第1項の表の中欄の掲げる年金の給付を受けている場合には、その 年金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を 記載した書類を添付すること。

また、この請求書に係る年金の支給決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

4 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書、エックス線写真その他の資料を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

その4~その5 略

その6(表) 略

その6(裏)

(裏)

[注意事項]

- 1 請求者は、%印の欄には記入しないこと。また、該当する \square に ν 印を記入すること。
- 2 「3 請求者及び遺族補償年金を受けることができる遺族」の欄の備考には、その者が請求者であるときは働、その者が代表者であるときは他、その者が妻で、障害等級第7級以上の障害の状態にあるときは働働、その者が障害等級第7級以上の障害の状態にあるときは働、また、その者が請求者と生計を同じくしているときは働と明記すること。
- 3 「4 既に遺族補償年金を受けている者」の欄には、「2 請求の事由」の欄の 記入が「学校医等の死亡」以外の場合に記入すること。
- 4 「6 遺族補償年金請求金額」の欄の金額の項には、受給権者が1人の場合又は 代表者を選任しない場合には、「5 遺族補償年金請求金額の計算」の欄に記入し た金額を記入し、また、代表者を選任した場合には、当該金額に受給権者の数を乗 じて得た金額を記入すること。
- 5 「7 厚生年金保険法等の適用」の欄には、死亡した学校医等又は請求者が<u>公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める</u>政令附則第3条第1項又は第2項の遺族補償年金の適用を受ける者であるときは、「………の被保険者である。」にその適用を受ける法律の名称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この遺族補償年金と同一の事由によって、 厚生年金保険法の遺族厚生年金及び国民年金法の遺族基礎年金、寡婦年金並びに旧 船員保険法、旧厚生年金保険法の遺族年金、旧国民年金法の母子年金、準母子年金 遺児年金、寡婦年金の給付を受けている場合には、その年金の種類、年額、支給開 始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を記載した書類を添付すること。

また、この請求書に係る年金の支給決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

- 6 この請求書には、次に掲げる書類を添付すること。ただし、前項なお書きに該当する場合には、次の(1)及び(3)に掲げる書類は添付する必要がない。
- (1) 学校医等の死亡診断書、死体検案書、検視調書その他学校医等の死亡の事実 及びその死亡が公務によるものであることを証明する書類又はその写し
- (2) 請求者及び請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族の氏名、本

その4~その5 略

その6 (表) 略

その6(裏)

(裏)

[注意事項]

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。また、該当する□に **レ**印を記入すること。
- 2 「3 請求者及び遺族補償年金を受けることができる遺族」の欄の備考には、その者が請求者であるときは働、その者が代表者であるときは⊕、その者が妻で、障害等級第7級以上の障害の状態にあるときは働働、その者が障害等級第7級以上の障害の状態にあるときは働、また、その者が請求者と生計を同じくしているときは⊕と明記すること。
- 3 「4 既に遺族補償年金を受けている者」の欄には、「2 請求の事由」の欄の 記入が「学校医等の死亡」以外の場合に記入すること。
- 4 「6 遺族補償年金請求金額」の欄の金額の項には、受給権者が1人の場合又は 代表者を選任しない場合には、「5 遺族補償年金請求金額の計算」の欄に記入し た金額を記入し、また、代表者を選任した場合には、当該金額に受給権者の数を乗 じて得た金額を記入すること。
- 5 「7 厚生年金保険法等の適用」の欄には、死亡した学校医等又は請求者が政令 附則第3条第1項又は第2項の遺族補償年金の適用を受ける者であるときは、「… ……の被保険者である。」にその適用を受ける法律の名称を記入すること。

なお、この請求書を提出するときに、この遺族補償年金と同一の事由によって、 政令附則第3条第1項の表の中欄の掲げる年金の給付を受けている場合には、その 年金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を 記載した書類を添付すること。

また、この請求書に係る年金の支給決定後に上記の年金の給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨を書類で報告すること。

- 6 この請求書には、次に掲げる書類を添付すること。ただし、前項なお書きに該当 する場合には、次の(1)及び(3)に掲げる書類は添付する必要がない。
- (1) 学校医等の死亡診断書、死体検案書、検視調書その他学校医等の死亡の事実及びその死亡が公務によるものであることを証明する書類又はその写し
- (2) 請求者及び請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族の氏名、本

- 籍及び死亡した学校医等との続柄に関する市町村長の発行する証明書(戸籍の謄本 又は抄本でもよい。)
- (3) 請求者及び請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が学校医等 の死亡の当時その収入によって生計を維持していた事実を認めることのできる書 類
- (4) 請求者が婚姻の届出をしていないが、学校医等の死亡の当時事実上婚姻関係 と同様の事情にあった者であるときは、その事実を認めることのできる書類
- (5) 請求者又は請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が障害等級第7級以上の障害の状態にある者であるときは、その者が学校医等の死亡の当時から引き続きその障害の状態にあることを証明する医師の診断書その他の書類及び資料
- (6) 請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が請求者と生計を同じ くしているときは、その事実を認めることができる書類
- (7) 受給権者が妻で、他に遺族補償年金を受けることができる遺族がない場合において、その者が障害等級第7級以上の障害の状態にあるものについては、その 障害の状態にあることを証明する医師の診断書その他の書類及び資料
- (8) 災害が第三者の行為によって生じたものであるときは、当該第三者の氏名及び住所(第三者の氏名及び住所が分からないときは、その旨)並びに災害の状況を記載した書類
- (9) 請求者が2人以上ある場合で代表者を選任したときは、代表者以外の請求者の同意書等、その者が代表者であることを認めることができる書類、また、代表者を選任しないときは、その理由を記載した書類

その7~その9 略

- 籍及び死亡した学校医等との続柄に関する市町村長の発行する証明書(戸籍の謄本 又は抄本でもよい。)
- (3) 請求者及び請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が学校医等 の死亡の当時その収入によって生計を維持していた事実を認めることのできる書 類
- (4) 請求者が婚姻の届出をしていないが、学校医等の死亡の当時事実上婚姻関係 と同様の事情にあった者であるときは、その事実を認めることのできる書類
- (5) 請求者又は請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が障害等級第7級以上の障害の状態にある者であるときは、その者が学校医等の死亡の当時から引き続きその障害の状態にあることを証明する医師の診断書その他の書類及び資料
- (6) 請求者以外の遺族補償年金を受けることができる遺族が請求者と生計を同じ くしているときは、その事実を認めることができる書類
- (7) 受給権者が妻で、他に遺族補償年金を受けることができる遺族がない場合に おいて、その者が障害等級第7級以上の障害の状態にあるものについては、その 障害の状態にあることを証明する医師の診断書その他の書類及び資料
- (8) 災害が第三者の行為によって生じたものであるときは、当該第三者の氏名及び住所(第三者の氏名及び住所が分からないときは、その旨)並びに災害の状況を記載した書類
- (9) 請求者が2人以上ある場合で代表者を選任したときは、代表者以外の請求者 の同意書等、その者が代表者であることを認めることができる書類、また、代表 者を選任しないときは、その理由を記載した書類

その7~その9 略

別記第	9 号	様式(第	13条関係	₹)						
その	1 (表)								(表)
		障害の)現状報告	書 (傷病補	i償年金)		認定番号	-		
	1	<u>5狩市教育</u>	<u> 美員会教育</u>	<u> </u>	様					
	ť	欠のとおり障	章害の現状を	を報告しま	す。					
		平成	三 月	日						
						報告者の	の住所			
						ふり				_
						氏				
						所 禹 字	校名			
	1	年金証書	書の番号	第		-	클			
	2	傷病補償年 開始年月	F金の支給	平成	年	月				
	3	傷病	等 級	第		希	及			
	4	障 害 0) 状 況							
	5	日常生活	舌の概要							
	6	当該障害に の種類	二関して支約	合されてい	る年金	支給されて金の年額	ている年	支給さ なった	れるこ :年月	とと
	厚生年金		全保険法の降害を 金法の障害を		<u>金</u>		円	平成	年	月
	厚生年金等の受給関		R険法の障害 F金保険法の		:	年金証書の	の記号番	所轄年 等	金事務	所名
	給関係	□旧国民年	<u>F金法の</u> 障領 (障害等	事年金 等級第	級)					

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

その1(裏) 略

別記第9	9 号:	様式(第13	条関係)						
その 1	1 (:	表)									(表)
		障	害の理	見状報告	書(傷病補	(首年金)		認定番号	1		
	-	石狩市参	 	a 全 数 音	長	様					
	-	H 23 11 42	10.45	3440.	<u> </u>						
	}	欠のとお	うり 障害	唇の現状:	を報告しま	:す。					
		平成	年	月	B						
		1 /// -									
							top at	- 0			
								の住所 <u></u>			
							ふり 氏				(A)
							所属学	校名			
	_										
	1	年金	証書	の番号	第		į	号			
	2	傷病補 開始年		金の支給	平成	年	月				
	3	傷	病	等級	第		ń	汲			
	4	障害	F 0	状 況	•						
	5	日常	生活	の概要							
	6	当該障 の種類		<u></u>	給されてい	る年金	支給される	ている年	支給さ なった	れるこ :年月	논논
	厚生	□厚生	年金保	険法等に』	る障害厚生	年金等		т	₩.4	<i>/</i> -	
	生年金等	□国民	年金法は	こよる 障害	序基礎年金			円	平成	年	月
	0	□Ⅱ船	員保険	生による 阻	音手年金		年金証書の	の記号番		金事務	所名
	受	□旧厚	生年金	呆険法によ	る障害年金	:	号		等		

係 (障害等級第 級) 備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

□旧国民年金法による障害年金

その1 (裏) 略

その2 (表) (表)								
	障害の現状報告	F書(障害補償年金)		認定番号				
					-			
	石狩市教育委員会教育長							
ì	次のとおり障害の現状	さる報告します。						
	平成 年 月	日						
			ふり:	がな		-		
			氏所属学		<u>@</u>	<u>"</u>		
1	年金証書の番号	第	5	<u>=</u>				
2	治癒年月日平	成 年 月	日					
3	障害等級	第	希	Б				
4	障害の状況							
5	日常生活の概要							
6	当該障害に関して支 の種類	で 給されている年金	支給されて金の年額		支給されること なった年月	: Ł		
厚生年金等の受給関	□ <u>厚生年金保険法の</u> □ <u>国民年金法の</u> 障害			円	平成 年	月		
等の受	□ <u>旧船員保険法の</u> 障 □旧厚生年金保険法		年金証書の 号		所轄年金事務所 等	名		
給関係	□ <u>旧国民年金法の</u> 障 (障害等級							
<u> </u>	1							

備考	用紙の大きさは、	日本工業規格A4縦型とする。

その2(裏) 略

その	2	(表)										(表)
_		障	語書の理	見状幸	8告書	(障害補償學	年金)		認定番号	号		
	-	二次古乡	#	3 △ 3	外 去巨		坐			·		
	.1	13月1日表	X 日 女 5	373	<u> </u>	1	3K					
	Y	欠のとま	₃り障割	手の手	見状を報	告します。						
		平成	年	J]	I						
								報告者の	D住所 <u></u> が か			
								氏				<u> </u>
								所属学	校名			
	1	年金訂	E書の都	番号		第		5	를			
	2	治癒	年月	日	平成	年	F	日				
	3	障	等等	級		第		希	及			
	4	障害の)状況		l							
	5	日常生	上活の棚	既要								
	6	当該障の種類		 目し ⁻	て支給さ	れている	年金	支給されて金の年額	ている年	支給さなった	れるこ :年月	とと
	厚生年金等の				等によるM 5 <u>障害基</u> 码	章害厚生年金	<u>※</u> 等		円	平成	年	月
	等の受給問				<u> </u>			年金証書 <i>の</i> 号	の記号番	所轄年 等	金事務	所名
	和	口旧国	早年金	失にこ	る障害年	王金						

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

(障害等級第

その2(裏) 略

ŧ)										(表)	(表)									,		(表
	遺	族の) 現	状	報告	- 書		認	定番号				遺	族	0	現り	棒力	3 告	書	彭	忍定番号	
	<u>穿市教育</u> ひとおり												<u>宇市教育</u> ひとおり									
<u>1</u>	区成	年	月	日								7	乙成	年	月	日						
						の ^を 報	告者の	の番· 住 j	号第 所										の年の報告	老の住	ぎ) 番号 <u>第</u> :所な 名	
1 列 氏名	E亡学校	医等の				(死1	二年月日		成 年 月	日)		1 歹 氏名	区亡学校 6	交医等	か						平成 年)	目 日)
2	氏	名	生生	平月日	住			所	死亡した学校 医等との続柄	障害の 有 無		2	氏	名	4	E年月	日	住		所	死亡した学校 医等との続	
受給権者及びその補償年金を受ける										有・無	点。 有 本 =	受給霍										有・無
4及びその金を受ける										有・無		自及びその金を受ける										有・無
ての者と生計を同じないることができる遺物										有・無		受給権者及びその者と生計を司じく補償年金を受けることができる遺族										有・無
できる遺族										有・無	F	こを司じてきる遺族										有・無
してい										有·無		してい										有・無
る遺族										有・無		る貴族										有・無
-										有・無												有・無

3	当該死亡に関して支給されている年金 の種類	支給されている年 金の年額	支給されることと なった年月			
厚生年金等	□ <u>厚生年金保険法の遺族厚生年金</u> □ <u>国民年金法の</u> 遺族基礎年金 □ <u>国民年金法の</u> 寡婦年金	円	平成 年 月			
	□旧船員保険法の遺族年金	年金証書の記号番	所轄年金事務所名			
の受	□ <u>旧厚生年金保険法の</u> 遺族年金	号	等			
給関	□ <u>旧国民年金法の</u> □母子年金 □準母子年金					
係	□遺児年金 □寡婦年金					

備 考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

(裏) 略

3	当該死亡に関して支給されている年金 の種類	支給されている年 金の年額	支給されることと なった年月
厚生年金	□ <u>厚生年金保険法等による遺族厚生年金等</u> □ <u>国民年金法による</u> 遺族基礎年金 □ <u>国民年金法による</u> 寡婦年金	円	平成 年 月
等の受	□ □旧船員保険法による遺族年金 □ □旧厚生年金保険法による遺族年金	年金証書の記号番 号	所轄年金事務所名 等
文給 関 係	□旧国民年金法による □母子年金 □準母子年金 □遺児年金 □寡婦年金		

備 考 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とする。

(裏) 略

別記第12号様式(第17条関係)	別記第12号様式(第17条関係)
その1~その2 略	その1~その2 略
その3 (第1葉)	その3 (第1葉)
災害発生年度 平成 年度 □学校 区 <t< td=""><td>(第1葉)</td></t<>	(第1葉)
死亡した学校医等の氏名 支給開始年月 平成年月 平成年月 原生年金保健法の遺族原生年 所り回民年金法の遺族基準年金	を
氏 名 生年月日 住 房 デニー データ データ データ データ データ データ データ データ データ デー	氏 名 生年月日 住 所 死亡した 学校医等 との事由 に との事由 の番号 に L との事由 に L との事品 と M に M に M に M に M に M に M に M に M に M
遺族 平成 年 月 日 第 号 調 □ □国民年金法の	選携 平成 年月日 第 号 回 回復年金法による
無 第 号 製 □ 母子年金 □ 準母子年	金 第 号 製 □ 母子年金 □ 準母子年金
第 号	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
新 号 支給されている年金の年額	円 籍 第 号 支給されている年金の年額 円
格 第 号 支 給 開 始 年 月 平成	年 月 第 号 「
第 号 年金証書の記号番号 第	・・・ 第 号 年金証券の記号番号 第 号
第 号 所轄年金事務所名等	第 号 所 轄 年 金 事 務 所 名 等 数令附則第3条によ 編 m 在 Cadamet 年金額(A 数令附則第3条によ
- 連 表	る調整又は制限後 の 年 金 額 黄 支 給 年 月 簡
補 平成 年 月から 円 <t< td=""><td>円 補 平成 年 月から 円</td></t<>	円 補 平成 年 月から 円
年金 平成 年 月から 平成 年 月から	年 金 平成 年 月から 平成 年 月から
の 平成 年 月から 平成 年 月から	の 年 平成 年 月から
額 平成 年 月から 平成 年 月から	額 平成 年 月から 平成 年 月から
振込先金融機関名 銀行 支店	板込先金融機関名 銀行 支店
口 座 番 号	口 座 番 号
その3 (第2葉) 略 備考 改正部分は、下線の部分である。	その3 (第2葉) 略

附則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

議案第3号

石狩市立学校通学区域規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市立学校通学区域規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市立学校通学区域規則(昭和51年教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

有的中立于仅远于区域规则(咱们01年获自安兵云规则为 1 <i>7)</i>	v2 即で以 <i>v3</i> よりに以上する。
改 正 前	改 正 後
(就学すべき学校の指定)	(就学すべき学校の指定)
第3条 学校に就学しようとする者は、保護者の居住地をその通学区域に含む学校	第3条 学校に就学しようとする者は、保護者の居住地をその通学区域に含む学校
に就学するものとする。ただし、学校教育法施行令第8条の <u>指定</u> により、保護者	に就学するものとする。ただし、学校教育法施行令第8条の <u>規定</u> により、保護者
からの申立てに相当と認められる事由があるときは、他の学校に就学することが	からの申立てに相当と認められる事由があるときは、他の学校に就学することが
できる。	できる。
(学校指定変更申立書)	(学校指定変更の申立て等)
第4条 前条ただし書の規定による保護者の申立ては、学校指定変更申立書 (別記	第4条 前条ただし書の規定による保護者の申立ては、学校指定変更申立書 (別記
<u>様式)</u> により行う。	<u>第1号様式)</u> により行う。
	2 教育委員会は、前項の申立てがあったときは、その内容を審査し、許可する場
	合は指定外就学許可通知書(別記第2号様式)により、不許可とする場合は指定
	外就学不許可通知書(別記第3号様式)により保護者へ通知を行う。
	(許可の取消し又は変更)
	第5条 教育委員会は、指定外就学の許可を受けた保護者又はその児童若しくは生
	徒が、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は許可した期
	間を変更することができる。
	(1) 第4条第2項の許可に係る事由を欠くに至ったと認められるとき。
	(2) 虚偽の申立てにより許可を受けたとき。
(委任)	(委任)
	'

<u>条</u> 略				第6条	_			-01						
様式 (第4条関係)				別記第	第1号様式	(第4条	関係)							
学 校 指 定 変 更	申 立 書						24	· 校 指	定変更	由公言	±:			
		年	月 日				,	(X)II	~ ~ ~	1. 22. 1	=			
													年	月 日
石狩市教育委員会教育長 様	(n />=r	_			石狩市教育	育委員会教育	育長 様							
	旧住所										保護			印、
	新住所	ſ									(電話	古)
	保護者		印		下記のとおり 規定により申し			├べき学校	を変更して	くださる	よう、学	校教育法施	行令第8	8条の
		(電話)		なお、学校を			うの通学に	関する一切	の事故等	の問題は	、私の責任	で処理い	ったし
					ます。				et e					
年 月 日付で指定された就学す	すべき学校を下	記により	変更してくだる	\$					記					
よう、学校教育施行令第8条の規定により申し	· -				現住所	石狩市								
なお、学校を変更いただいた場合の通学に関す	する一切の事故	等の問題	は、私の責任で	で	前住所	石狩市								
里いたします。														
型いたします。 	_ 生年月日				ふ り が な 児童生徒氏名	①			2			3		
S り が な	生年月日	年	Я В		ふりがな	①			②			3		
s り が な	生年月日	年	月 日		ふりがな		年 月	Ħ		手 月	FI		年 月	l B
S り が な 児童生徒氏名	・・中学校				ふ り が な 児童生徒氏名		年 月	日 学年		年 月	日 学年		年 月	日学年
5 り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小	・・中学校	年 学 年	月 日第 学年		ふ り が な 児童生徒氏名 生年月日		第		4	第			第	
ふ り が な 児童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年		第小	学年	石狩市立	第小・	学年 中学校		第	学年
s り が な 記童生徒氏名 旨定された学校 立 小 変更申立学校 立 小 で 更申立学校 立 小	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校	石狩市立	第小小	学年・中学校	石狩市立	第小・	学年 中学校 中学校	石狩市立	第小小	学年 ・中学校 ・中学校
S り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から
 ふ り が な	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年・中学校
5. り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小 変更申立学校 立 小 型 最終学年のため □ 学期途中のため () 学期終了まで □ その他の事由	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年 ・中学校 ・中学校 日から
S り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小 変更申立学校 立 小 型 最終学年のため □ 学期途中のため () 学期終了まで □ その他の事由	・・中学校				ふりがな 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年 ・中学校 ・中学校 日から
5. り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小 変更申立学校 立 小 型 最終学年のため □ 学期途中のため () 学期終了まで □ その他の事由	・・中学校				ふ り が な 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校 期 間	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年 ・中学校 ・中学校 日から
あ り が な 見 董 生 徒 氏 名 指定された学校 立 小 変 更 申 立 学校 立 小 で 更 申 立 学校 立 小 □ 最終学年のため 学期終了まで □ その他の事由	・・中学校				ふ り が な 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校 期 間	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年 ・中学校 ・中学校 日から
S り が な 見童生徒氏名 指定された学校 立 小 変更申立学校 立 小 変更申立学校 立 小 型 最終学年のため □ 学期途中のため () 学期終了まで □ その他の事由	・・中学校				ふ り が な 児童生徒氏名 生年月日 学 年 指定された学校 変更申立学校 期 間	石狩市立石狩市立年	第小小	学年 ・中学校 ・中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小・ 小・ 月	学年 中学校 中学校 日から	石狩市立 石狩市立 年	第 小 小	学年 ・中学校 ・中学校 日から

 第
 号

 年
 月

 日

様

石狩市教育委員会 教育長

指定外就学許可通知書

このことについて、下記のとおり指定外就学を許可します。

なお、住所地又は申立事由に変更があった場合は、許可が取消しとなる場合があり

ますので、速やかに

課まで届出願います。

また、登下校の際の交通安全には十分注意してください。

記

児童・生徒氏名	学	校	名	学年	許	可	期	間
許可理由:								

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日 から起算して3か月以内に、石狩市教育委員会に対して審査請求をすることがで きます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(前項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

別記第3号様式(第4条関係)

 第
 号

 年
 月
 日

様

石狩市教育委員会 教育長

指定外就学不許可通知書

このことについて、下記のとおり不許可とします。

記

児童・生徒氏名	学 校 名	学年
不許可理由:		

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日 から起算して3か月以内に、石狩市教育委員会に対して審査請求をすることがで きます
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日 (前項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市 (訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。) を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分(表(様式)の下に下線がある場合は、当該表(様式)全部)である。

附則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

議案第4号

石狩市立学校施設の使用に関する規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市立学校施設の使用に関する規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市立学校施設の使用に関する規則(平成2年教育委員会規則第8号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第1号様式(第4条及び第5条関係)	別記第1号様式 (第4条及び第5条関係)

学校施設使用申請書

年 月 日

石狩市教育委員会 様

氏 名 申請者 住 所

電 話

下記のとおり使用したいので、申請します。

											屋	是内体育	館		
使	用	場	所	石狩市立	<u>አ</u>			学校			Ź	ブラウン	K		
												校舎			
				年	月	日	()か	6	年	月	日	()	まで
使	用	期	間	午前・	午後	時		分か	ら午前	j • 4	午後	時		分	まで
使	用	目	的												
(击)	使用料の減免		七石	□有□無	※体育	館利月	月の	方のみ	タ記入	下さり	/ \ ₀				
(天)	73 12-17	V) (//g	X 7C	理由											

同 意 書

申請の件については、該当日時は学校において教育上支障をきたさないので、石 狩市立学校施設の使用に関する規則を守ることを条件として、使用することに同意 します。

年 月 日

学校長

印

	学校施設使用許可書										
減 免	承認・却下	理由	石狩市立学校施設使用料条例施行規則 別表 に該当								
At III dol		減免率	減免後								
使用料		 例兄学	使用料								
1 20 -	hati	\	A Harris Start Co. In Co.								

上記申請について学校施設の使用を許可します。

年 月 日

石狩市教育委員会

(表)

学校施設使用申請書

年 月 日

石狩市教育委員会 様

氏 名

申請者 住 所

電 話

下記のとおり使用したいので、申請します。

										屋	内体育的	馆	
使	用	場	所	石狩市立	ኒ.		学校			グ	ラウン	ド	
											校舎		
				年	月	日 () か	6	年	月	日 ()	まで
使	使 用 期 間		間	午前・	午後	時	分か	ら午前	j・午	後	時	分	まで
使	用	目	的										
/± 1	M. Frankland A.			□有□無	※体育	館利用の	り方のみ	な記入	下さい	١,٥			
使用料の減免				理由									

同 意 書

申請の件については、該当日時は学校において教育上支障をきたさないので、石 狩市立学校施設の使用に関する規則を守ることを条件として、使用することに同意 します。

年 月 日

学校長

印

	学校施設使用許可書									
減 免	承認・却下	理由	石狩市立学校施設使用料条例施行規則 別表 に該当							
使用料		減免率	減免後 使用料							

上記申請について学校施設の使用を許可します。

年 月 日

石狩市教育委員会

印

(裏)

教 示

- 1 この処分に対して不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起 算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った目 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った 日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は、 石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを 提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であって も、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起 することができなくなります。

別記第2	号様式	(第4条	及び第	5条関係)

学校施設使用申請書

年 月 日

石狩市立 学校長 様

使用責任者 氏名 住所

電話

下記のとおり使用したいので、申請します。

使	用	場	所	石狩市立			学校		()屋内)グラ)校	
<i>t</i> -t-		4hn		年	月	目	午	前後	時		分から
使	用	期	間	年	月	目	午	前後	時		分まで
使	用	目	的								
参加	加予	定人	人員								

学校施設使用許可書

申請の件については、該当日時は学校において教育上支障をきたさないので、石 狩市立学校施設の使用に関する規則を守ることを条件として、使用することを許可 します。

年 月 日

石狩市立 学校長 印

別記第2号様式(第4条及び第5条関係)

(表)

学校施設使用申請書

年 月 日

石狩市立 学校長 様

使用責任者 氏名 住所

電話

下記のとおり使用したいので、申請します。

使	用	場	所	石狩市立	Ī.		į	学校		(内体育館 ラウンド 舎
使	用	期	間	白		月月	B B	午午	前後前後	時時	分から 分まで
使	用	目	的								
参加予定人員			人員								

学校施設使用許可書

申請の件については、該当日時は学校において教育上支障をきたさないので、石 狩市立学校施設の使用に関する規則を守ることを条件として、使用することを許可 します。

年 月 日

石狩市立 学校長 印

(裏)

教 示

- 1 この処分に対して不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起 算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った目 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った 日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は、 石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを 提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であって も、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起 することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

議案第5号

石狩市学び交流センター条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市学び交流センター条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市学び交流センター条例施行規則(平成23年教育委員会規則第3号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第3号様式(第3条関係)	別記第3号様式(第3条関係)

年 月 日

石狩市学び交流センター使用承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を承認します。

	Den 19 G - 1 - 1 - 1 - 1								
使用目的									
(行事名)									
使用責任者			法田書	E / 土 本 幼 牛	(
氏 名			使用身	使用責任者連絡先 () -					
	如艮丸	士	3 11	使用開始	使用終了	法田吐服			
	部屋名	使月	1 口	時 間	時 間	使用時間			
		月	目()	:	:	時間			
使用する部		月	日()	:	:	時間			
屋及び時間		月	目()	:	:	時間			
		月	目()	:	:	時間			
		月	月()	:	:	時間			
使用人数		人使	用備品						

使用料の 減免承認 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します。 石狩市学び交流センター条例第4条第2項及び同条例施行規則別表 項 号に該当 (表面)

年 月 日

石狩市学び交流センター使用承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を承認します。

使用目的(行事名)						
使用責任者 氏 名			使用頁	責任者連絡先	()	_
	部屋名	使月	用日	使 用 開 始 時 間	使 用 終 了 時 間	使用時間
		月	日()	:	:	時間
使用する部		月	日()	:	:	時間
屋及び時間		月	日()	:	:	時間
		月	日()	:	:	時間
		月	日()	:	:	時間
使用人数		人使	用備品			

使用料の 減免承認 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します。 石狩市学び交流センター条例第4条第2項及び同条例施行規則別表 項 号に該当

(裏面)

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

別記第4号様式	(第3条関係)
---------	---------

年 月 日

石狩市学び交流センター定期使用承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を承認します。

1 BP 02 C 42 ;	人区力	口飞刀	へ叩ししょう	0							
使用目的											
(行事名)											
使用責任者					(古 田 =	 任者連約	女生.	()		
氏 名					使用身	[江石)	ゴノレ	(,		
			使用期	間	年	月	日	\sim	年	月	日
				•	曜日(毎週 ・	第	,	週)		
	第		第5週目	を ([□含む、□	含まない)、	祝日	を (口]含む、□	含また	さい)
	希		部屋名	7	使用開	使用開始時間		使用終了時間			時間
は田子フ加						:		:			時間
使用する部						•					. 3 11-3
屋及び時間			使用期	間	年	月	日	\sim	年	月	日
					曜日(毎週 ・	第	,	週)		
	第	2	第5週目	を ([□含む、□	含まない)、	祝日	を (口]含む、□	含また	さい)
	希	希 望	部屋名	7	使用開	始時間	使	用終	了時間	使用	時間
		-				:	:				時間
						ı					
使用人数			人	使	用備品						

別記第4号様式(第3条関係)

(表面)

年 月 日

石狩市学び交流センター定期使用承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を承認します。

使用目的											
(行事名)											
使用責任者					庙田書	f任者連絡 f	、生	()	_	
氏 名					区用具	(11日) 生和	1)[(,		
			使用期間	間	年	月	日	\sim	年	月	日
					曜日(名	毎週 ・	第	,	週)		
	第	1	第5週目	を ([□含む、□	含まない)、	祝日	を([□含む、□	含まな	けい)
	希	望	部屋名	i	使用開	始時間	使	用終	了時間	使用	時間
/+ III .											時間
								:			
使用する部						•		•			叶间
歴用する部 屋及び時間			使用期間	罰	年	· 月	日	~	年	月	日
			使用期間		年		日第	~		月	
	第	2			年	月 毎週・	第	~	年 週)		Ħ
	第希	2 望		を ([年曜日(4	月 毎週 ・ 含まない)、	第祝日	~ , lを([年 週)	含まな	Ħ
			第5週目	を ([年曜日(1 曜日(1 コ含む、ロ	月 毎週 ・ 含まない)、 始時間	第祝日	~ , lを([年 週) コ含む、ロ 了時間	含まな	日 (い)
			第5週目	を ([年曜日(名 □含む、□ 使用開	月 毎週 ・ 含まない)、 始時間	第祝日	~ , lを(E 用終 ⁻	年 週) コ含む、ロ 了時間	含まな	おい)

(裏面)

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内で あっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消し の訴えを提起することができなくなります。

別記第	6	号様式	(第)	8	条関	係)

年 月 日

石狩市学び交流センター販売行為等承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり、販売行為等を承認します。

行 事 名										
		部屋名		,	使用開	始時間		使用約	佟了時間	1
						:			:	
使用する部屋						:			:	
						:	:			
						:			:	
搬入日時			年	月	日	時	分	~	時	分
搬出日時			年	月	日	時	分	~	時	分
	品	名				販売単価	î	1	搬入数	

別記第6号様式(第8条関係)

(表面)

年 月 日

石狩市学び交流センター販売行為等承認書

様

石狩市教育委員会

下記のとおり、販売行為等を承認します。

	مداد				- m ==	/ / n-L ==		/- m /	4 → n± H	
-		屋名		1:	史用開	始時間		使用約	冬了時間	ij
					:				:	
使用する部屋					:		:			
					:				:	
					:				:	
搬入日時			年	月	日	時	分	~	時	S
搬出日時			年	月	日	時	分	~	時	5
	品	名				販売単価	i	ł	般入数	

(裏面)

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。) を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

議案第6号

石狩市ふれあい研修センター条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市ふれあい研修センター条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市ふれあい研修センター条例施行規則(平成6年教育委員会規則第2号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第3号様式(第2条関係)	別記第3号様式(第2条関係)

石狩市ふれあい研修センター利用承認書

年 月 日

団 体 名 代表者名

施	設	L Č	名	高岡	• ‡	1生排	Ŕ	•	五の	り沢		生	振	Š	れぁ	, V	研修	をセン	ター		
行	事	F	名																		
利	用	目	的																		
責	任者	f 氏	名	ふりがな				j	責任	:者連	絡	先	()			~			
責	任者	住住	所	₹				•													
利	用	備	品	(椅子、	机等)																
利	用	者	数			J															
				施設。	名	I	用		開		始	利		用		終		了	利		用
				//E X		•月	• 目	(曜	日)	時・	分	年	月	• 月	(曜	日)	時	·分	時		間
								()						()				日	時間
利.			用			•		()	•				•	()				日	時間
年及	月 び		日分			•		()	•				•	()				日	時間
X	0.),j			•		()	•				•	()				日	時間
						•		()	•				•	()				日	時間
						•		()	•				•	()				日	時間
減	免	申	請								有	•	#	Ħ.							
侧	光	甲	再再	申請要件																	

※ 石狩市ふれあい研修センター条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

	利用料金	減免額		合計	
上記のとおり利用を承認いたします。	円		円		円
なお、別途指示する利用上の注意事項 を遵守してください。	審査			承認番号	
年 月 日 指定管理者	免除 ・ 却下 免除率 理由				

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

石狩市ふれあい研修センター利用承認書

(表面)

年 月 日

団 体 名 代表者名

施	設		名	高岡		北生	辰		五の	つ沢		生振	Š	れぁ	, V	研修セン	/ター		
行	事		名																
利	用目	1	的																
責	任者	氏	名	ふりがな				2	責任	者連維	各先	()		~			
責	任者	住	所	Ŧ				•											
利	用有	前	品	(椅子、	机等	:)													
利	用 ā	f	数			,	(
				施設。	名	利	用		開	始	П.	利	用		終	了	利		用
				л <u>е</u> (х)		年・月	· 日	(曜	目)	時・分	?	年・月	• 月	(曜	日)	時・分	時		間
								()				•	()			日	時間
利	_		用					()				•	()	•		日	時間
年及	月 び [7	日分					()				•	()	•		日	時間
汉	O, Þ	_	71					()				•	()	•		日	時間
								()				•	()			日	時間
								()				•	()			日	時間
減	免日	Þ	請							有	1	· 4	Ħ.						
似	УĽ F	ť	莳	申請要件															

※ 石狩市ふれあい研修センター条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

	利用料金	減免額		合計	
上記のとおり利用を承認いたします。	円		円		円
なお、別途指示する利用上の注意事項 を遵守してください。	審査			承認番号	
年 月 日 指定管理者	免除 ・ 却下 免除率 理由				

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

(裏面)

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 目 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する 者は指定管理者となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを 提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

別記第4号様式(第2条関係)

石狩市ふれあい研修センター附属設備利用承認書

年 月 日

団 体 名 代表者名

施	部	į	名	生振ふれあい	研修センター							
利	用	目	的	素焼き・	本焼き							
責	任者	广氏	名	ふりがな		責任者連	絡先	()		~	
責	任者	住	所									
利	用	者	数		人							
利年	月	ı	用日	附属設備名	年 月	日	曜日	1	年	月	日	曜日
及	び		分	陶芸窯	•	•						
減	免	申	請			有	· 無					
似	九	T	pΗ	申請要件								

※ 石狩市ふれあい研修センター条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

	利用料金減	免 額	合 計
上記のとおり利用の承認をいたします。 なお、別途指示する利用上の注意事項を遵守 してください。	円	円	円
年 月 日	審	査	承認番号
	減免 ・ 却下		
指定管理者	減免率		
Take Brack	理由		

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

別記第4	号様式	(第2	条関係)

(<u>裏面</u>) 石狩市ふれあい研修センター附属設備利用承認書

年 月 日

団 体 名 代表者名

施 設 名	生振ふれあい研修センター				
利用目的	素焼き ・ 本焼き				
責任者氏名	ふりがな	責任者連絡先	()	~	
責任者住所					
利用者数	人				
利 用年月日	附属設備名 年 月	日曜日	年 月	日曜日	
及び区分	陶芸窯・	•	•		
減免申請	有 · 無				
灰 元 中 明	申請要件				

※ 石狩市ふれあい研修センター条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

				利	用	料	金	減	免	額	合			計
上記のとおり利用の承認をいたします。 なお、別途指示する利用上の注意事項を遵守 してください。					円			円				円		
	年	月	日	審						査	承	認	番	号
				減多	色		却下							
指定管理者		減多	色率											
		理師	Ħ											

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

(裏面) 教示 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知 った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する 者は指定管理者となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを 提起することができます。 なお、処分又は裁決があったことを知った目の翌日から起算して6か月以内であっ ても、処分又は裁決の目の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを 提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

議案第7号

石狩市美登位創作の家条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市美登位創作の家条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市美登位創作の家条例施行規則(平成元年教育委員会規則第3号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第2号様式(第4条関係)	別記第2号様式(第4条関係)

石狩市美登位創作の家利用承認書

年 月 日

団 体 名 代表者名

施設名	美 登	位	創	作	の	家							
行 事 名													
利用目的													
責任者氏名	ふりが	な				j	責任者連	絡先	()	~		
責任者住所	₹												
利用備品													
利用者数			人										
	施設	名	利	F	Ħ	開	始	利	用	終	了	利用	時間
	旭政	70	年•	月•	日(月	濯日)	時・分	年•	月・日	1(曜日)	時・分	利用	时间
401 III	A	室		•	()	•	•	•	()	•	日	時間
利 用 年 月 日	В	室		•	()	•	•	•	()	•	日	時間
みび区分	С	室		•	()	•	•	•	()	•	日	時間
及〇匹刀	D	室		•	()	•	•	•	()	•	日	時間
	宿泊棟第	第1		•	()	•		•	()	•	日	時間
	宿泊棟第	第2		•	()	•		•	()	•	日	時間
							有	•	無				
減免申請	申請要	件											

※ 石狩市美登位創作の家条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

	利	用	料	金	減	免	額	合		計
上記のとおり利用を承認いたしま				円			円			円
す。 なお、別途指示する利用上の注意事	審					査	承	認	番	号
項を遵守してください。	免隊	余	• ‡	却下						
年 月 日	免隊	全全								
指定管理者	理日	þ								

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

石狩市美登位創作の家利用承認書

(表面)

年 月 日

団 体 名 代表者名

施設名	美 登	位	創	作	の家	Ę						
行 事 名												
利用目的												
責任者氏名	ふりが	な				責任者連	絡先	()	~		
責任者住所	₹											
利用備品												
利用者数			人									
	施設	名	利	用	厚	月 始	利	用	終	了	41 H	時間
	旭 政	冶	年・月	·	(曜日)時・分	年・月	月・日	(曜日)日	時・分	利用	h-2 [H]
~: m	A	室	•	•	()	•	•		()	•	日	時間
利用用	В	室	•	•	()	•	•	•	()	•	日	時間
年 月 日 及び区分	С	室	•	•	()	•	•	•	()	•	日	時間
及び区別	D	室	•	•	()	•	•		()		日	時間
	宿泊棟	第1	•	•	()	•	•		()	•	日	時間
	宿泊棟	第2	•	•	()	•	•		()	•	日	時間
						有	· 無	ŧ				
減免申請	申請要	更件										

※ 石狩市美登位創作の家条例及び規則の定めるところにより利用いただきます。

	利	用	料	金	減	免	額	合		計
上記のとおり利用を承認いたしま				円			円			田
す。 なお、別途指示する利用上の注意事	審					査	承	認	番	号
項を遵守してください。	免隊	余	• ‡	却下						
年 月 日	免隊	余率								
指定管理者	理日	þ								

備考 この様式を標準とし、指定管理者が別に定めることができる。

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は指定管理者となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

議案第8号

石狩市カルチャーセンターの使用に関する規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市カルチャーセンターの使用に関する規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市カルチャーセンターの使用に関する規則(平成15年教育委員会規則第3号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第2号様式(第5条関係)	別記第2号様式(第5条関係)

(表面)

カルチャーセンター使用許可書兼減免承認書	カルチャーセンター使用許可書兼減免承認書						
年 月 日	年 月 日						
様	様						
石狩市教育委員会下記のとおり使用を許可します。	石狩市教育委員会 下記のとおり使用を許可します。						
使用部屋名	使用部屋名						
使用期間	使 用 期 間						
使 用 内 容 使用許可申請書のとおり	使 用 内 容 使用許可申請書のとおり						
使 用 料	使 用 料						
許 可 条 件 裏面参照	許 可 条 件 裏面参照						
上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します。 使用料の □石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当 減免承認 □石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項 (理由:)	上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します。 使用料の □石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当 減免承認 □石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項 (理由:)						

使用にあたっては、規則の規定に基くほか、次の事項を守ってください。

- 1 この許可書は、施設を使用中携帯してください。
- 2 許可なく次の事項は行わないでください。
- (1) 物品の展示、募金活動並びに看板、立札等の設置
- (2) 所定の施設設備以外の使用
- (3) 所定の場所以外への立入り
- (4) 認められた場所以外への車の乗り入れ
- 3 使用する月の使用料を使用する前日までに納付してください。
- 4 原則として納付した使用料はお返ししません。
- 5 準備又は清掃整頓は、承認された時間内に行い、使用時間を守ってください。
- 6 学校敷地内での喫煙や火気の使用は認めていませんので、ご注意ください。
- 7 施設設備は破損し又は滅失したときは、直ちに届けてください。
- 8 使用後は原状に回復し管理人の点検を受けてください。
- 9 施設使用の権利は、他人に譲ったり、転貸することはできません。
- 10 承認を受けた日の使用を中止する場合は、すみやかに教育委員会社会教育課 (TEL72-3173) へ連絡してください。
- 11 施設使用日誌は、必ず記入してください。
- 12 学校行事等で利用できないことがありますのでご了承下さい。
- 13 駐車スペースに限りがありますので、車の乗り入れはなるべくご遠慮下さい。
- 14 その他不明な点は、教育委員会社会教育課(TEL72-3173)へ問い合わせてください。

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する 者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの 訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを 提起することができなくなります。

4 号様式(第 5 条関係)		別記第4号様式(第5条関係)
カルチャーセンター使用変更許可書		カルチャーセンター使用変更許可書
年 月	日	年 月 日
様		様
石狩市教育委員会		石狩市教育委員会
次のとおりカルチャーセンター使用変更を許可します。		次のとおりカルチャーセンター使用変更を許可します。
変更前		変更前
使用部屋名		使用部屋名
使 用 期 間		使 用 期 間
使 用 料		使 用 料
変更後		変更後
使用部屋名		使用部屋名
使用期間		使用期間
使用中止期間		使用中止期間
使 用 料		使 用 料

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 目 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った目) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

議案第9号

石狩市立緑苑台小学校の学校施設の使用に関する規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市立緑苑台小学校の学校施設の使用に関する規則の一部を改正する教育委員会規則 石狩市立緑苑台小学校の学校施設の使用に関する規則(平成17年教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

改正前	改 正 後
川記第4号様式(第9条関係)	別記第4号様式(第9条関係)

緑苑台小学校開放施設使用許可書兼減免承認書

年 月 日

登録番号 団 体 名

代表者名

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を許可します。

使	用	場	所	
使	用	期	間	
使	用	内	容	使用許可申請書のとおり
使	,	Ħ	料	1時間につき 円

使用料の減免承認	上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を <u>受けたい</u> <u>請</u> します。 □石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当 □石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項	いので申
	(理由:)

許可条件

使用にあたっては、規則の規定に基づくほか、次の事項を守ってください。

- 1 この許可書は、施設を使用中携帯してください。
- 2 許可なく次の事項は行わないで下さい。
- (1) 所定の施設設備以外の使用
- (2) 所定の場所以外への立入り
- 3 原則として、車両の乗り入れはご遠慮ください。

また、施設の使用にかかる駐車スペースは確保しておりませんので、やむを得ず車両により来校した場合は、開放管理人の許可を得て、学校関係者等の車両の駐車、通行等の妨げにならないよう、十分留意願います。特に冬期間については、除雪駐車スペースが学校関係者等の使用に限定されていることを、あらかじめご了承願います。

- 4 使用する月の使用料は使用日の前日までに納付してください。
- 5 納付された使用料は、原則としてお返しできません。
- 6 準備又は清掃、整頓は、承認された時間内に行い、使用時間を守ってください。
- 7 火器使用は注意し、適切な措置を講じてください。
- 8 施設設備を破損し、又は滅失したときは、直ちに届け出てください。
- 9 使用後は原状に回復し、管理人の点検を受けてください。
- 10 使用の権利は、他人に譲ることや転貸することはできません。
- 11 許可を受けた日の使用を中止する場合は、速やかに管理人に連絡してください。
- 12 施設使用日誌は必ず記入してください。
- 13 学校行事等で使用できないことがありますので、ご了承願います。
- 14 その他不明な点は、石狩市教育委員会へ問い合わせてください。

| (表面) | (表面)

) 11	-///3	121	
使	用	期	間	
使	用	内	容	使用許可申請書のとおり
使	F	Ħ	料	1時間につき 円
				ent en la catalografia

	上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を <u>承認</u> しまっ	ナ。
使用料の	□石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当	
減免承認	□石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項	
	(理由:	

許可条件

使用にあたっては、規則の規定に基づくほか、次の事項を守ってください。

- 1 この許可書は、施設を使用中携帯してください。
- 2 許可なく次の事項は行わないで下さい。
- (1) 所定の施設設備以外の使用
- (2) 所定の場所以外への立入り
- 3 原則として、車両の乗り入れはご遠慮ください。

また、施設の使用にかかる駐車スペースは確保しておりませんので、やむを得ず車両により来校した場合は、開放管理人の許可を得て、学校関係者等の車両の駐車、通行等の妨げにならないよう、十分留意願います。特に冬期間については、除雪駐車スペースが学校関係者等の使用に限定されていることを、あらかじめご了承願います。

- 4 使用する月の使用料は使用目の前日までに納付してください。
- 5 納付された使用料は、原則としてお返しできません。
- 6 準備又は清掃、整頓は、承認された時間内に行い、使用時間を守ってください。
- 7 火器使用は注意し、適切な措置を講じてください。
- 8 施設設備を破損し、又は滅失したときは、直ちに届け出てください。
- 9 使用後は原状に回復し、管理人の点検を受けてください。
- 10 使用の権利は、他人に譲ることや転貸することはできません。
- 11 許可を受けた日の使用を中止する場合は、速やかに管理人に連絡してください。
- 12 施設使用日誌は必ず記入してください。
- 13 学校行事等で使用できないことがありますので、ご了承願います。
- 14 その他不明な点は、石狩市教育委員会へ問い合わせてください。

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算 して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても 処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起する ことができなくなります。

別記第4号の2様式(第9条関係)

緑苑台小学校開放施設附属設備使用許可書兼減免承認書

年 月 日

登録番号 団 体 名

代表者名

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を許可します。

連	絡	先	氏名				TEL	
利	用 者	数					人 (予定)	
			種	別	窯入れ日	曜日	使 用 目 的	
							素焼き・本焼き	
							素焼き・本焼き	
使	用年月	日					素焼き・本焼き	
及	び区	分	陶芸	窯			素焼き・本焼き	
							素焼き・本焼き	
							素焼き・本焼き	
							素焼き・本焼き	
使	用	料	素烤	焼き	口	円	合 計	
丈		14	本塚	焼き	旦	円	P	9
備		考						

	上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します	す。
使用料の	□石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当	
減免承認	□石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項	
	(理由:)

別記第4号の2様式(第9条関係)

(表面)

緑苑台小学校開放施設附属設備使用許可書兼減免承認書

年 月 日

登録番号団 体 名

代表者名

石狩市教育委員会

下記のとおり使用を許可します。

連	絡	先	氏	各					1	ΓEL		
利	用者	数									人(引	定)
			種	別	窯入	れ日	曜	目	使	用	目	的
						•				素焼き	・本焼き	
						•				素焼き	・本焼き	
使	用年月	日			•					素焼き	・本焼き	
及	び区	区分陶芸窯	•					素焼き	・本焼き			
					•					素焼き	・本焼き	
					•					素焼き	・本焼き	
					•					素焼き	・本焼き	
使	用	料	茅	長焼き		口	円		合	計		
区	л	14	本	に焼き		口	円					円
備		考										

	上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認しま	す。
使用料の	□石狩市立学校施設使用料条例施行規則別表 項 号に該当	
減免承認	□石狩市立学校施設使用料条例第3条第3項	
	(理由:)

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算 して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても 処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起する ことができなくなります。

別記第6号様式(第9条関係)	別記第6号様式(第9条関係)
緑苑台小学校開放施設使用変更許可書	緑苑台小学校開放施設使用変更許可書
年 月 日 登録番号 団 体 名 代表者名 様 石狩市教育委員会	年 月 日 登録番号 団 体 名 代表者名 様 石狩市教育委員会
下記のとおり使用変更を許可します。 変 更 前	下記のとおり使用変更を許可します。 変 更 前
使用場所	使用場所
使 用 期 間	使用期間
使 用 料 1時間につき 円	使 用 料 1時間につき 円
変 更 後	変更後
使 用 場 所	使用場所
使 用 期 間	使用期間
使用中止期間	使用中止期間
使 用 料 1時間につき 円	使 用 料 1時間につき 円

(裏面) 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算 して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(同 項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)の 翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育 委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起すること ができます。 なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても 処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起する ことができなくなります。 備考 改正部分は、下線の部分である。

附則

議案第10号

石狩市公民館条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市公民館条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則

石狩市公民館条例施行規則(平成3年教育委員会規則第7号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改正後
別記第4号様式(第5条関係)	別記第4号様式(第5条関係)

石	狩	市	公	民	館	使	用	承	認	書	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

団 体 名 代表者住所 代表者氏名 様

施設名	石狩市公民	そ館・	美登值	立分館		樽川	分館		
使用目的									
責任者氏名	ふりがな			責任	者連續	各先	() —	
納付書送付先	□窓口交付 □代表者へ送付 □その他(右欄)へ送付			その他の 住所 〒 送付先 氏名					
使用備品									
使用予定人数		人							
	部屋名	使	用	日	使	用開始	台時間	使用終了時間	使用時間
		月	日	()		:		;	時間
使用する部屋		月	日	()		:		:	時間
及び時間		月	日	()		:		:	時間
		月	日	()		:		:	時間
		月	日	()		:		:	時間

※ 石狩市公民館条例及び規則の定めるところにより使用いただきます。

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳	使用料		※減免額	納付額	
		円	円		円
上記のとおり使用を承認いたします			承認番号		
工品のとものが区内と不能が行わるよう	年 月	Ħ			
石狩市教	対有委員会				

(表面)

石狩市公民館使用承認書

団 体 名 代表者住所 代表者氏名

施設名	石狩市公臣	石狩市公民館 · 美登位分館 · 樽川分館							
使用目的									
責任者氏名	ふりがな			責任者		各先	() —	
納付書送付先	□窓口交付 □代表者へ送付 □その他(右欄)へ送付			その他 送 付		住所氏名			
使用備品									
使用予定人数			人						
	部屋名	使	用	Ħ	使月	用開女	台時間	使用終了時間	使用時間
		月	日	()		:		:	時間
使用する部屋		月	日	()		:		:	時間
及び時間		月	日	()		:			時間
		月	日	()		:		:	時間
		月	日	()		:		:	時間

※ 石狩市公民館条例及び規則の定めるところにより使用いただきます。

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳	使用料	※減免額	納付額
	円	円	円
上記のとおり使用を承認いたします		承認番号	
	年 月 日 故育委員会		

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する 者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの 訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを 提起することができなくなります。

別記第5号様式(第5条関係)

石狩市公民館定期使用承認書

団 体 名 代表者住所 代表者氏名

様

施設名	石狩市公	公民館										
使用目的												
責任者氏名	ふりがな			責任	者連約	先	()	_		
納付書送付先			そのft 送 付		住別氏名		T					
使用備品												
使用予定人数		Д										
		使用期間			年	J	月	日	から	年	月	日
	第1希望	第5週目を	(□{	含む	□含ま		雇日()、	, , , ,	:週 を([・ 第 、 □含む □1	週) 含ま <i>た</i>	(1 J
	□ 決定	部屋名				使用開始時間 使用終了時間			使用時間			
使用する部屋										:		時間
及び時間		使用期間			年	,	月	日	から	年	月	日
	第2希望	第5週目を	(□{	含む	□含ま		曜日()、		~	· 第 、 □含む □1	週) 含ま <i>た</i>	:\v)
	口 伏足	部	屋名			使月	刊開	始時間	使月	月終了時間	使用	時間
								:		:		時間

※ 石狩市公民館条例及び規則の定めるところにより使用いただきます。

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳				使用料		※減免額	納付額	
	円×	時間×	回		円	円		円
	上記のとおり	使用を承認いた	たします			承認番号		
	110 % C 40 %	2711 2711,001		年 月 対育委員会	日			

別記第5号様式(第5条関係)

		_ (
石狩市公民館定期使	用承認書	
	団 体 名	
	代表者住所	
	代表者氏名	様

施設名	石狩市公	公民館									
使用目的											
責任者氏名	ふりがな			責任者連絡	各先	()	_		
納付書送付先				その他の 差 付 先	住所 〒 氏名						
使用備品											
使用予定人数	Д										
		使用期間		年	J	月 日	ħ	116	年	月	日
	第1希望 □ 決定	第5週目を((口含	む 口含ま			毎週日 を		第 、 含む □1	週) 含まな	(い)
		部	屋名		使月	使用開始時間 使用終了時間			終了時間	使用	時間
使用する部屋						:			:		時間
及び時間		使用期間		年	J	月 日	力	126	年	月	日
	第2希望 □ 決定	第5週目を((口含	む 口含ま			毎週日 を	_	第 、 含む □1	週) 含まな	(, Y.
	山 伙庄	部	屋名		使月	用開始時	間	使用	終了時間	使用	時間
						:			:		時間

※ 石狩市公民館条例及び規則の定めるところにより使用いただきます。

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳	使用料		※減免額	納付額	
円× 時間× 回	Р]	田		円
上記のとおり使用を承認いたします		·	承認番号		
	年 月 E 可教育委員会	1			

教示

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 目 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った目) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市 (訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

別記第	6	号様式	(第	5	条	関係)

石狩市公民館附属設備使用承認書

団 体 名 代表者住所

代表者氏名

様

責任者氏名	ふりがな			責任	者連	絡先	11	()		_		
納付書送付先	□窓口交付 □代表者へ送付 □その他(右欄)へ送付			その他			所名						
使用予定人数													
		附属設備名		5	絮入 》	1日	時			窯出	11	日時	
	素焼き	陶芸窯1 (小)		月	日	())	:	月	日	()	:
使用する設備 及び日時	米がさ	陶芸窯2 (大)		月	日	())	:	月	日	()	:
	本焼き	陶芸窯1 (小)		月	日	())	:	月	日	()	:
	本焼さ	陶芸窯 2 (大)		月	日	())	:	月	日	()	:

× 7	なお おかり こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	早館冬個15	び相則の定める	レースし	ァトり付目	日いただキます
-----	--	--------	---------	------	-------	---------

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳		使用料		※減免額	納付額	
			円	円		円
上記のとおり使用を承認いたします				承認番号		
	年	月	日			
石狩市教	育委	員会				

(表面)

石狩市公民館附属設備使用承認書

団 体 名 代表者住所

代表者氏名

155

責任者氏名	ふりがな		責任者連絡	責任者連絡先) —		
納付書送付先	□窓口交付 □代表者へ送付 □その他(右欄)へ送付		その他の 送 付 先	住所 〒 氏名				
使用予定人数	Д.							
		附属設備名	窯入れ	旧時	È	窯出し日時		
使用する設備 及び日時	素焼き	陶芸窯1 (小)	月 日()	:	月 日():		
	糸焼さ	陶芸窯2 (大)	月 日()	:	月 日():		
		陶芸窯1 (小)	月 日()	:	月 日():		
	本焼き	陶芸窯 2 (大)	月日()	:	月 日():		

※ 石狩市公民館条例及び規則の定めるところにより使用いただきます。

使用料の	□ 上記使用に関する使用料について、次の理由により減免を承認します
減免承認	石狩市公民館条例第8条第2項及び同規則別表項号に該当

使用料内訳	使用彩	ŀ	※減免額	納付額
		円	円	円
上記のとおり使用を承認いたします			承認番号	
	年 月	日		
石狩市教育委員会				

(裏面) 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日(同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知 った日)の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する 者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの 訴えを提起することができます。 なお、処分又は裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分又は裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを 提起することができなくなります。 備考 改正部分は、下線の部分である。

附則

議案第11号

石狩市民図書館条例施行規則の一部を改正する規則案 平成28年3月25日提出

石狩市教育委員会 教育長 鎌 田 英 暢

石狩市民図書館条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則

石狩市民図書館条例施行規則(平成12年教育委員会規則第15号)の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後
別記第5号様式(第13条関係)	別記第5号様式(第13条関係)
(表) 略	(表) 略

(裏)

図書館施設の使用に当たっては、次の事項を守ってください。なお、図書館の運営上必要があるときは、許可を取り消す場合がありますのでご了承願います。

- 1 この許可書は、図書館施設を使用するときに図書館職員に提示するとともに、図書館施設を使用中は携帯し、図書館職員の要求があったときは提示してください。
- 2 図書館施設を使用する前に、図書館職員に目的外使用料の領収書を提示してください。
- 3 図書館施設内においては、次の事項を守ってください。
- (1) 許可なく危険物を持ち込まないこと。
- (2) 許可なく指定された場所以外での飲食、喫煙及び火気の使用をしないこと。
- (3) 図書館資料又は図書館の施設、設備若しくは器具を損傷し、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) その他図書館の職員の指示に従うこと。
- 4 準備及び後始末は許可された時間内に行ってください。
- 5 建物又は附属設備を破損し、又は滅失したときは、直ちに届け出てください。
- 6 使用後は、原状に回復し、図書館職員の点検を受けてください。
- 7 搬入した物品等は、責任をもって管理してください。
- 8 この許可書に記載された事項に変更が生じたときは、図書館職員に許可書を提示し、 その承認を受けてください。
- 9 図書館施設の使用の権利は、他人に譲ったり、転貸することはできません。
- 10 既に納付した目的外使用料は、一定の場合以外はお返しできません。
- 11 その他不明な点は、図書館職員に問合せの上、その指示に従ってください。

処分に不服がある場合

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、石狩市長に対して異議申立てをすることができます。
- 2 前項の異議申立てに対する決定についてさらに不服がある場合は、当該異議申立て に対する決定があったことを知った日の翌日から起算して30日以内に、北海道知事に 対して審査請求をすることができます。
- 3 第1項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日(第1項による異議申立て又は前項による審査請求をしたときは、当該異議申立てに対する決定又は当該審査請求に対する裁決があったことを知った日)から6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市長となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分、決定又は裁決があったことを知った日から6か月以内であっても、処分、決定又は裁決の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

(裏)

図書館施設の使用に当たっては、次の事項を守ってください。なお、図書館の運営上必要があるときは、許可を取り消す場合がありますのでご了承願います。

- 1 この許可書は、図書館施設を使用するときに図書館職員に提示するとともに、図書館施設を使用中は携帯し、図書館職員の要求があったときは提示してください。
- 2 図書館施設を使用する前に、図書館職員に目的外使用料の領収書を提示してください。
- 3 図書館施設内においては、次の事項を守ってください。
- (1) 許可なく危険物を持ち込まないこと。
- (2) 許可なく指定された場所以外での飲食、喫煙及び火気の使用をしないこと。
- (3) 図書館資料又は図書館の施設、設備若しくは器具を損傷し、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) その他図書館の職員の指示に従うこと。
- 4 準備及び後始末は許可された時間内に行ってください。
- 5 建物又は附属設備を破損し、又は滅失したときは、直ちに届け出てください。
- 6 使用後は、原状に回復し、図書館職員の点検を受けてください。
- 7 搬入した物品等は、責任をもって管理してください。
- 8 この許可書に記載された事項に変更が生じたときは、図書館職員に許可書を提示し、 その承認を受けてください。
- 9 図書館施設の使用の権利は、他人に譲ったり、転貸することはできません。
- 10 既に納付した目的外使用料は、一定の場合以外はお返しできません。
- 11 その他不明な点は、図書館職員に問合せの上、その指示に従ってください。

処分に不服がある場合

- 1 この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から 起算して3か月以内に、石狩市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 前項のほか、この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った 日 (同項による審査請求をしたときは、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日) の翌日から起算して6か月以内に、石狩市(訴訟において石狩市を代表する者は石狩市教育委員会となります。)を被告として、札幌地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

なお、処分又は裁決があったことを知った日<u>の翌日</u>から<u>起算して</u>6か月以内であっても、処分又は裁決の日<u>の翌日</u>から<u>起算して</u>1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附則